analytica Lab India

Messe München

ファイナルレポート

国際ラボテクノロジ・分析機器・バイオテクノロジ・診断技術専門見本市
インド・ムンバイ / Jio World Convention Centre
2025年4月23日～25日

2025年 4 月 25 日

進化したMumbai editionにおいて、インドのラボ・サイエンスとインフラ革新への野心を明確に示す

Summary

- 業界関係者 6,502 人が来場
- 200 社を超えるブランドが出展
- 300 件を超える積極的なバイヤー・セラーミーティング
- 3,000 点を超える製品と技術を紹介

Facts＆Data

会　　期	2025年 4月 23 日（木）～25 日（金） 午前 10時～午後 6 時（最終日午後5時）
会　　場	インド・ムンバイ / Jio World Convention Centre
主　　催	Messe Muenchen India Pvt Ltd Messe Muenchen GmbH
規　　模	（2024 年：8,500 ㎡）
出 展 企 業	200社（2024年：165社）
来 場 者 総 数	6,502人（2022年：10カ国から6,024人）
専 門 分 野	ラボ技術、バイオテクノロジ、ライフサイエンス、光学、研究＆リサーチ
主 な 出 展 品	分析技術・機器：分析機器、クロマトグラフィー、分光測定機器、顕微鏡検査、光学画像処理 検査・測定・品質管理：産業品質管理、材質試験、材質評価、薬品産業品質管理 ラボテクノロジ：ラボ用機器・技術・設備、ラボ用データシステム、化学製品・試薬・消耗品 ライフサイエンス・診断：バイオアナリシス、バイオケミカル、バイオインフォマティクス、ライフサイエンス関連ラボ・バイオテクノロジ
専 用 ＵＲＬ	www.analyticaindia.com（英語）

精度、スピード、そしてコンプライアンスが産業の卓越性を決定づけるこの時代において、ラボラトリーは、もはや裏方ではなく最前線の存在となっている。その根拠は、4月23日から25日にかけてムンバイのJio World Convention Centreで開催されたanalytica Lab India 2025の会場全体に明確に示された。

「We Create Labs」という大胆なテーマのもとに構築されたこの見本市は、従来とは一線を画すものとなった。公式アンバサダーとして登場したクリケット選手のRavindra Jadeja氏が、その戦略的な意義と華やかさを更に際立たせた。精密さ、俊敏さ、そして戦略的な影響力で知られるJadeja選手は、『Fast, Focused, Future-Ready』という見本市のコンセプトを体現しており、これらの資質は、最新のラボラトリーと見本市のビジネス動向に通じている。

インドのほか、アラブ首長国連邦、スリランカ、米国、日本、シンガポール、オランダ、英国、カナダ、ドイツから総勢6,502人の業界関係者を集めた今回の見本市は、過去の来場者数記録を塗り替え、南アジアで最も影響力のあるラボ・テクノロジおよび分析科学の見本市としての地位を更に強固なものにした。
200社を超えるブランドが出展し、広範かつ入念に企画されたこの見本市は、最新の技術情報や知識を提供するとともに、業界のトレンドやニーズに応じた課題解決の手段を示し、新たな商機を創出した。

インドにおけるラボラトリーの拡張が、医薬品の研究開発、食品安全の規制対応、臨床診断、環境試験によって、いっそう促進されている昨今、この見本市は包括的な視点を打ち出し、際立った存在感を示した。
当見本市での主な紹介分野は、医薬品・バイオテクノロジ、食品・飲料検査、環境モニタリング、臨床診断などである。

ラボ構築の主要分野には以下が含まれる。
- 分析機器
- 実験室用家具
- 実験用ガラス製品
- ロボティクス、AI、デジタル化

結論から言えば、インドでラボラトリーを設立し、あるいは、その規模を拡張する場合、この見本市が、そのサプライチェーンの出発点となる。

見本市と並行して、3日間の会議プログラムFuture Labsが、「AI、自動化、次世代ツールによる分析試験の革新」をテーマとして開催され、各分野の専門家、規制当局、CTO、機関プランナーが一堂に会し、ラボ・サイエンスの進化を促する変革の原動力を多角的に検証した。
このプログラムは、Association of Food Scientists & Technologists (India) - Mumbai Chapter（インド食品科学技術者協会ムンバイ支部）、製薬業界向けの学習・研修プラットフォームPharmaState Academy、およびインドの製薬業界を代表する業界団体Indian Pharmaceutical Allianceとの共催で行われた。

主なテーマには、ラボ運営におけるデジタルトランスフォーメーション、予測診断におけるAIとML、自動化によるコンプライアンス管理、そしてモジュール型・モバイル型・スマートラボの台頭がある。議論は未来志向で進められ、インドにおける公的および民間のラボインフラにデジタル変革の推進を組み込むべきだとの明確な提言がなされた。

この知的交流の場に隣接して、ソフトウェア・パビリオンが設置されており、LIMS（ラボラトリー情報管理システム）、DMS（文書管理）、QMS（品質管理システム）、そしてデータセキュリティフレームワークに関する企業向けソリューションを、業界を代表する一流ブランドが紹介するという厳選されたゾーンとなっている。
このゾーンは、ワークフローのデジタル化だけでなく、コンプライアンス・ライフサイクル全体のデジタル化を目指すラボラトリーにとって、司令塔の役割を果たした。

このイベントを締めくくったのが、Buyer-Seller Lounge（バイヤー・セラー・ラウンジ）という専用のビジネスゾーンである。そこでは、技術プロバイダーと投資予算計画を持つバイヤーとの間で、300件を超える意欲的かつ具体的な商談が進められた。この適格なアクセス環境によって、商談は相談から具体的な取引交渉へと迅速に進んだ。なお、見本市の開催に先立って、Aurangabad、Pune、Daman、Navi Mumbaiの主要4都市

でプレイベント・ロードショーを開催し、参加者との交流の機会を広げていた。この取り組みが、功を奏して、本番の見本市への来場者数増加に大きく貢献した。

analytica Lab India 2025 Mumbai editionは、ビジネスの枠を超えて、アイデアの交換、パートナーシップの構築、科学インフラの未来の形成をもって幕を閉じた。
次回のMumbai editionは2026年4月22日から24日まで開催され、地理的、技術的、商業的に、さらに多様な展開が期待される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.analyticaindia.com まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部株
式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583　Fax: 03-6402-4584　E-mail: info@messe-muenchen.jp URL:
www.messe-muenchen.jp（日本語）www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語）